


ひょうご環境保全創造活動助成 活動報告書

団体名	しあわせのいきもの会議		
団体の所在地	神戸市北区中一里山しあわせの村シルバーカレッジ内	代表者名	戸田 耿介
1.事業名	「しあわせの村」における生物多様性保全に関する活動の立ち上げ		
2.実施期間	平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日		
3.主な実施場所	神戸市北区しあわせの村一帯		
4.活動形態	○団体立ち上げ ○普及啓発活動 ・実践活動 ○調査活動 ・環境パートナーシップ事業（協働団体名： ） ・その他（ ）		
5.活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p>1. 生物調査活動・植物、昆虫、鳥類、哺乳類、水辺の生き物の 5 チームで観察・記録、採集・標本作成等を行った。 延べ 28 回実施、調査参加人数延べ 178 名 確認種数(概数)：植物 171 種、昆虫 110 種、鳥類 82 種、哺乳類 3 種、水辺の生き物 26 種</p> <p>2. 観察会活動および啓発活動 ・植物観察会 2 回 参加者延べ数 12 名 村内イベントでシカ農林被害問題啓発とシカ肉料理体験実施、スタッフ参加者数 30 名。 ・生物多様性シンポジウム「外来種と向き合う人々ー外来種対策の活動事例と課題」の開催。主催：神戸市（環境局自然環境共生課）・共催：神戸市シルバーカレッジ(しあわせの村いきもの会議) 平成 28 年 10 月 1 日 13～16 時、神戸市相楽園会館、参加者約 150 名</p>		
6.成果・反響・反省点等	<p>① 継続的な生物相調査によって動植物の生息種数や場所の一端が把握でき、今後の保全活動や啓発活動へつながる基礎資料を得た。</p> <p>② 調査活動を通して、当会会員の自然に関する知見や観察力が深まった。また動植物の採集方法や標本作成等の技能を高めることが出来た</p> <p>③ 観察会や村内のイベントで市民に動植物に関する知識や動向を伝えた。</p> <p>④ 外来種アカミミガメの駆除を行った。</p> <p>⑤ 子供たち向けの観察会が十分には企画運営できず、今後の課題となった。</p>		
7.成果物	・観察会用の教材リーフレット（哺乳類）		
8.活動写真説明	 <p>左から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しあわせの村日本庭園でのホテル観察会（3 日間で約 1500 人参加） ・野鳥の生息状況を自然歩道沿いにルートセンサス法により確認 ・図鑑と学術アドバイザーの助言により標本にした昆虫の種類を同定 		